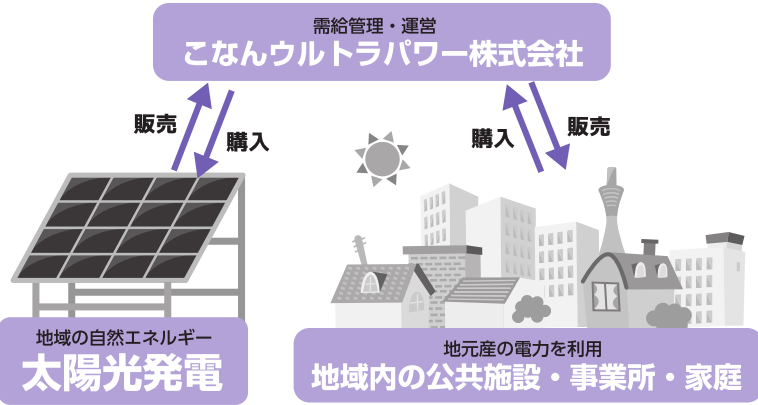


自然エネルギーで地域を元気に!

地元の電力を地域内で利用することで、資金が循環します



こなんウルトラパワー株式会社は、一般の家庭や商店・事務所などに低圧電気の販売を開始しました。月の使用量が350kWh以上の家庭や500kWh以上使う店舗や事業所にはお得なプランです。

こなんウルトラパワー
お申し込みはWEBで
<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは
☎0800・800・5084
午前9時～午後6時(土曜・日曜・祝日を除く)

コナン市民共同発電所 7月の発電結果

初号機 発電量: **2,140kWh**
パンパン発電所 売電額: **94,160円**
設備容量 20.8kW

一般家庭 約7軒分

貳号機 発電量: **8,285kWh**
甲陸発電所 売電額: **364,540円**
設備容量 105.6kW

一般家庭 約27軒分

参号機 発電量: **1,554kWh**
十二坊温泉 売電額: **54,700円**
ゆらら発電所 設備容量 16.3kW

一般家庭 約5軒分

四号機 発電量: **2,438kWh**
柑子袋まちづくり 売電額: **85,817円**
センター発電所 設備容量 23.6kW

一般家庭 約8軒分

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

谷畑市長の まちづくり 最前線レポート No.164

9月1日の市議会招集あいさつで、今日11日告示、18日執行の市長選挙への出馬を見合わせることを表明しました。苦渋の決断をするまでの間、悩みに悩みましたが、このままでは湖南市の自治と民主主義が壊れてしまおうと考えるに至りました。

平成15年に滋賀県庁職員であった自分のクビを斬り落として旧甲西町長選挙に出馬したのは、財政調整基金も底を尽き、役場と地域の関係も不安定だったにも関わらず、あきらめによる無投票という空気に包まれていたからです。

このままではまちがダメになるという青臭い思いから、キャリアを捨てて選挙の選択肢をつくりました。無名の新人を潰そうという圧力がありませんでしたが、住民の皆さんの積極的なお支えで当選させていただきました。

さらに、再び自分のクビを斬り落として旧石部町との対等合併を断行し、平成16年以降の新しい湖南市の舵取り役も委ねていただきました。

その後、財政も安定化し、道路や橋梁、駅などの整備も計画的に進め、発

達支援システムの展開や高齢者の健康づくり、切れ目ない子育て支援などが実現されました。学級崩壊だらけの学校現場は落ち着いた学習の場となり、地域まちづくりや多文化共生や経済活性化にも政策的な余力を割けるようになってきました。

こなんウルトラパワー株式会社を中心とするSDGs未来都市構想は国の最先端を走るところまで来ましたし、市役所の災害即応力も向上しています。新型コロナウイルス感染症対策には県内最速で取り組み、めぐるくんの日中高齢者無料化も実現できました。

そうしたときに、ふと振り返ってみて、果たしてこれでよかったのだろうか、市民の皆さんの生命と暮らしと経済を守ろうとして、私的な時間をほとんど公務に投入し、一心不乱に市長職を務めてきたものの、逆に市民の皆さんを政治から遠ざけてきたのではないかと反省するに至ったのです。

これまで政治のイヤなところは、できるだけ市民の皆さんに見えないように努力してきました。しかし、健全な自治と民主主義を取り戻すためには、そこを市民の皆さんにお見せする必要があります。そう、若い人たちの未来を創るのは政治なのです。

そこで、三たびクビを斬り落として政治を市民の皆さんにお返しすることとしました。青臭い思いをご理解いただきますようお願いいたします。